

2. 二酸化炭素削減目標と進捗状況

本計画で定める削減目標は、文京区全体の二酸化炭素排出量の総量を基準年度比で 28%削減することです。これに加えて、区の二酸化炭素排出量に占める割合が大きい民生（家庭）部門と民生（業務）部門について、部門別の目標が設定されています。

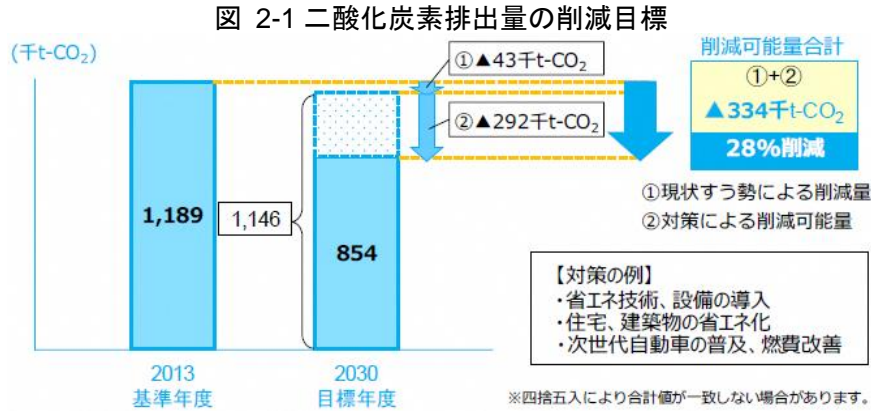


表 2-1 削減目標

総量目標	2013（平成25）年度比	削減率	▲28%
部門別目標	民生（家庭）部門	1世帯当たり	▲794kg-CO ₂ （削減率 ▲28%）
	民生（業務）部門	床面積100㎡当たり	▲3,585kg-CO ₂ （削減率 ▲34%）

2.1 進捗評価方法

<総量目標>

基準年度の二酸化炭素排出量 1,189kg-CO₂から、28%削減後の二酸化炭素排出量 854kg-CO₂へ目安線を引き、各年度の実績値が目安線より下回っているかを把握します。目安線より下回った場合◎、おおむね目安線通りの場合○、目安線を上回った場合は△とします。

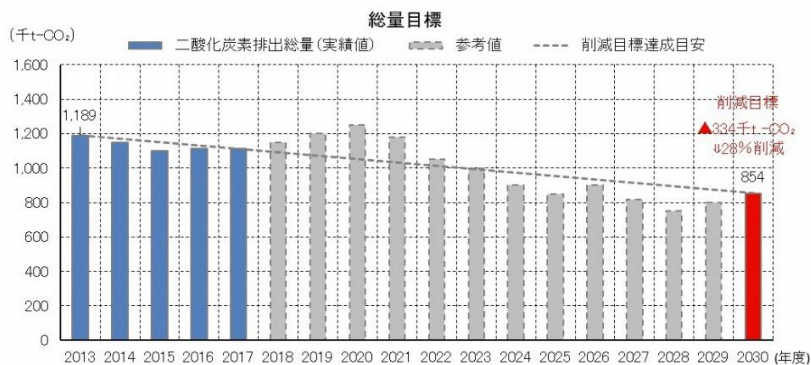
<部門別目標>

民生（家庭）部門、民生（業務）部門も同様に基準年度値から目安値への参考線を引き、各年度の実績値が目安線より下回っているか把握します。目安線より下回った場合◎、おおむね目安線通りの場合○、目安線を上回った場合は△とします。

表 2-2 目標の進捗評価方法

		現状の評価
推移（傾向）	2030年度目安に対して上回った（良好）	◎
推移（傾向）	2030年度目安に対してほぼ同等	○
推移（傾向）	2030年度目安に対して下回った（不良）	△

図 2-2 削減目標達成状況（総量）イメージ図



3. 文京区における行動計画（アクションプラン）の実施状況

本計画に基づいて 2020（令和 2）年度に本区が実施した主なアクションプランについて、5 つの分野ごとに取組内容をまとめました。

分野1 省エネルギーの推進	
<p>1-1 暮らしにおける環境配慮行動 省エネルギー型家庭用機器の導入支援及び情報提供や啓発による日常生活における省エネルギー行動の促進</p> <p>1-2 事業活動における環境配慮行動 省エネルギー機器導入支援策及び事業活動における省エネルギー行動の促進</p> <p>1-3 区の率先行動 区有施設における省エネルギー設備・機器等の導入等、建築物における各種省エネルギー対策及び区職員の率先的な環境配慮行動の実践</p>	
<p>< 2020（令和2）年度の主な取組内容 ></p> <p>当該年度のトピックスとして主要な取事業メニューを記載</p> <p>※前計画の進行管理資料（参照：令和2年度第1回協議会資料第1号 P9～10）では示していなかった、具体的な取組を記載</p>	
<p>< ●●●●事業 ></p> <p>特に特徴的な事業の実施状況等が イメージできる写真・イラスト等を記載</p>	<p>特に特徴的な事業の実施状況等が イメージできる写真・イラスト等を記載</p>

分野2 再生可能エネルギー等の利用促進

2-1 再生可能エネルギー利用

家庭への再生可能エネルギー等設備の導入支援及び区有施設における再生可能エネルギーの利用検討

2-2 先進的なエネルギー利用

水素エネルギーに関する区民・団体、事業者への情報提供・普及啓発、地域における利活用方策の検討及び次世代自動車の活用による電力利用検討

P3 と同様に整理

分野3 スマートシティの推進

3-1 環境に配慮した交通手段

自転車・公共交通機関の利用促進及び自転車利用環境の整備等による運輸部門からの二酸化炭素排出量の削減

3-2 環境に配慮したまちづくり

再開発等に合わせた効率的なエネルギー利用の検討、低炭素建築物の促進及び二酸化炭素を吸収するみどりの創出等によるまち全体のエネルギー効率の向上

P3 と同様に整理

分野4 循環型社会の形成

4-1 家庭系ごみの3R

生ごみの減量や食品ロス削減、家庭から出る不用品のリユースの促進及び区民等によるリサイクルの取組支援

4-2 事業系ごみの3R

ごみ排出に関する事業者への指導や自己処理の促進等の働きかけ及び区有施設における率先的なごみの削減

P3 と同様に整理

分野5 気候変動の影響への適応

5-1 自然災害対策

道路の治水対策等の推進、ハザードマップ作成や避難誘導対策及び災害対応の体制整備等による 区民等の安全・安心確保

5-2 健康被害に関する対策

気候変動による熱中症発症数の増加や感染症の発症の可能性等について、区民等への情報提供

5-3 暑熱対策

街なかのみどりの確保、遮熱性舗装等の推進、打ち水用品の貸出、クールシェアスポットの提供及び利用促進等による暑さ対策

5-4 自然生態系に関する対策

気候変動による生態系への影響や、外来種の侵入・定着等の影響に関する情報収集及び対応策検討

P3 と同様に整理

4. 本計画の進捗状況

本計画の進行管理にあたり、長期的にモニタリングしていく指標を設定し、アクションプランの進捗状況を把握しています。

表 4-1 進捗評価方法

	現状の評価
達成の見込み有	◎
達成まで引き続き行動が必要	○
達成まで更なる行動が必要	△

<進行管理指標>

分野	指標	計画策定時 (2018年度)	現状 (●年 度)	評価	将来の目安 (2030年度)
1 省エネルギーの 推進	地球温暖化に対する意識向上率（区民）	91%	●%	—	100%
	地球温暖化に関する意識向上率（事業者）	89%	●%	—	100%
	庁内 CO ₂ 実排出量（床面積:100m ² 当たり）	4.17 t-CO ₂	●t-CO ₂	—	3.10 t-CO ₂
2 再生可能エネルギー等の利用 促進	区内再生可能エネルギー設備導入量	4,134 kW	●kW	—	4,953 kW
3 スマートシティの 推進	コミュニティバス利用者数	933,503 人	●人	—	現状より増加
	自転車シェアリング利用回数	345,211 回	●回	—	現状より増加
	※1				
4 循環型社会の 形成	※2				
5 気候変動の影響への適応	地域防災力（活動助成率）	68 件	●件	—	現状より増加
	透水性舗装路線数及び雨水浸透柵数	—	●本	—	現状より増加
	熱中症救急搬送人員数	94 名	●名	—	現状より減少

※1 「文京区みどりの基本計画」で定めている指標の中から、設定していく予定です。

※2 改定される「文京区一般廃棄物処理基本計画」で定められる指標の中から設定していく予定です。

アンケート結果

区民・団体、事業者アンケートの主な結果を記載